

## 2018年6月17日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

主の祈り

賛 美 聖歌597番「父なる神の恵みは」  
(Never Worry) (来たれイエスを礼拝しよう)

聖 書 ヤコブの手紙 5章13～18節(p.365)

音 楽 カルバリー聖歌隊(指揮:香月健兄)

証 詞 ①牧利亮兄(学生会) ②波木井一男兄(アブラハム会)

メッセージ 「心とからだの癒し・シリーズ3」 倉知契副牧師

賛 美 「雨をふりそそぎ」(570番・献金)

頌 栄 「たたえよ全能の神を」 アーメン

祝 禱

「わたしは裸で母の胎を出た。また裸でかしこに帰ろう。  
主が与え、主が取られたのだ。主のみ名はほむべきかな。」

(ヨハネの二十一)

### 【町田ニュース】

- ・ 先週の「ほっとママの会」は祝福されました(大人10人、子人2人参加)。
- ・ 本日、午後「[弟子学校](#)」があります。
- ・ 東京カルバリーは今は諸事情によりお休みです。
- ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜は丸藤伝道師、木曜朝は小林伝道師、金曜夜は梅津伝道師。
- ・ 土曜日「[祈り会](#)」は都合のためお休み。
- ・ 来週11時「[父の日・オープン礼拝&バーベQ](#)」。チラシを持ってお誘いしましょう(無料)。月末なので[国際飢餓対策への募金](#)を集めます。
- ・ 7月15日(日)～16日(祝)「[夏のファミリーキャンプ](#)」。教会員の方も奮ってご参加ください。教会の年に一度のキャンプ。恵まれます。申込は29日(木)まで。
- ・ 今年も半年守られたことを感謝し「[上半期感謝献金](#)」を捧げましょう。
- ・ 今週も宿題に従って、[聖書通読・Q.T.](#)しましょう。



## 焔の中の宝物

「神は自分のかたちに人を創造された」(創世記1章27節)。

明らかに人はどこか自然の動植物とちがう。そのちがいはなにか。その素朴な疑問が、人は神のかたちに似せて造られたという表現を取らせた。神のかたちという表現についてはさまざまな解釈がある。動物に対する人間の支配を意味する、あるいは神の主権の代理のしるしであるとも言われる。さらに発展して、神に対する応答性だとか、なんらかの神の一部分であるとか、理性や自由意志のような高い精神性を表すなど様々に意見が分かれる。要は、人間という存在は尊いのだということなのである。(中略)

人間の特権は、個体がかけがえのないひとつの命を生きていると自覚できることです。だからこそ、他の自然のかけがえのない存在に責任をもつのも人間なのです。人は神のかたちにかたどって造られたとは、自分というものの存在の意味を理解し、それに責任をもつことができるものとして造られたということにほかなりません。人はロボットではないのです。そのままの存在をなんの自覚もなしに生きることはありません。なぜ造られたのか、なんのために造られたのか、その意味を理解し得る存在として、この世に生きています。しかも自分の世界だけを狭く見ているではありません。造られたものすべてに目を凝らして、そこにある意味や価値を発見する力を与えられています。それこそが、神のかたちにかたどって造られたものの特権です。環境保全運動が盛んなのも、かけがえのない存在の意味や価値を知るからこそでしょう。加来周一著「実用聖書名言録」より

先日、霞ヶ関の弁護士会館で憲法改正についての講演を聞きました。現在の日本国憲法は軍隊が暴走しないための歯止めをかけた世界でも極めて優秀なものです。国際問題に決して武力を用いず、対話と交渉で解決するといった理想的な憲法です。そのため日本は戦後70年間平和に過ごすことができました。憲法改正で実質上歯止めが外されれば、再び軍国主義に向かう道を開いてしまいます。恒久平和主義と立憲主義を保ちつつ、自衛をするための道を、慎重に模索すべきです、との内容でした。平和が守られるため祈りましょう。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:使徒2章～6章 Bコース:ネヘミヤ4章～エステル10章